

こんばちは議会です

ぱいぬしま No.52

たけとみちょう

2025

議会だより



CHECK!!

- 令和7年 女性議会 2~3
- 令和7年 9月定例会 4~5
- 9月定例会 一般質問 6~15
- 政務活動費 関連 16

未来をつくる私たちの一歩

女性議会 開催!!



竹富町議会ホームページ
<http://www.town.taketomi.okinawa.jp/gikai/index/>

令和7年 女性議会を 開催！

地域に貢献
しない“フリーライド
事業者”への対策が必要。
U・Iターン希望者が安心して住める住宅支援の強化。
町民スペースや物流を活用した地産地消の仕組みを。
公共交通の利便性向上で町民の移動をもっと快適にしてほしい。
島の文化と暮らしを守るのは、島に住み、支える人々の力が必要。

內 盛 朝 佳 議員

- 1.島外からフリーライドする観光事業者の規制について
 - 2.石垣島における町民サービスについて

民生委員からの報告が
支援につながりにくい現状がある。
石垣からの支援だけでは限界が
あり、島内に相談窓口を設けるべき。
現場スタッフの声を反映した
認定調査の必要性、
住み慣れた地域で最短期
を迎える仕組みづくり、
現場の努力が報われる
支援体制を。

玉元志帆議員

- 支援が必要な人に迅速かつ適当な支援は届いているのか
 - 団塊の世代の高齢化に対応できるのか

A portrait of a woman with short brown hair and glasses, wearing a white top and a necklace with a blue pendant. She is gesturing with her hands while speaking.

小松英子 議員

- 1.子どもの心と身体の健康にとって、一番の礎となる命の始まりの時を最高の状態にし安心して産める環境作り
 - 2.世界一子育てに良い町に本気で取り組んで頂きたい

妊婦が家族と離れて出産する不安を減らす支援の充実を。
産前産後の孤立を防ぎ、相談しやすい関係づくりの構築を。
遊具や身体活動が歯や発達にも影響する。
伝統文化の継承と心の育ちを促す仕組み、自然と人の
温かさが融合した理想の暮らしの場に。

離島でも学びの
機会が得られるよう、オンライン
塾や学習支援の導入を求める。
子どもたちの心身の成長に欠かせ
ない遊び場の復活、遊具の設置を
強く求める。
要配慮者の避難支援、情報
伝達、訓練の充実を求める。
現場の声を行政が直接聞
き、共に動いてほしい。

大底京子 議員

- ## 1.子育て教育関係について 2.災害関連について

島の可能性から新しい産業が出来ないか、新しい雇用の場が出来ないか、それには住むところが必要な
ど、現在模索中です。

04 今活動していること

あまり勉強は好きではないが、机に座ること
も無かったのですが、長い時間机に向かっていられ
るようになりました。気になることをメモし、記憶
確認で写真も撮る様になりました。

お母さんがやるなら応援すると全面協力でした。

島の議員選出で男性陣
がまとまらず、島から
の立候補は断念する方
の中、男性がダメな
女性議員を選出すると
いうことで、女性の先輩や
友人から立候補するよう応援があり、私も竹富町
行政への興味と好奇心があり立候補しました。

議員は面白いです！生活において公人として自分を制することは少し必要で、自分自身頑張つてします。他は、公人故の立場で色々な出会いや県外研修、広域事務組合では国外行政視察等、普段の生活では体験できないことができ、知りたいこと聞きたいこと等、議員故に対応して頂き教えて頂けるのであります。議員になつて議会の議案審議等から竹富町の中が知れ、それ故審議の責任は有りますが、議員になつたからこそ学べるもので面白いと思います。町長も議員も当選する前は普通の人です。ですから今、普通の皆さんこそ議員になりましょう！！議員同士、切磋琢磨し竹富町を築く竹富町議会に皆さんも是非！！

現職女性議員 インタビュー!!

「私たちの暮らしを、私たちの言葉で。」

10月23日、竹富町議事堂にて「女性議会」を開催。町内各地域から8名の女性が議員役として登壇し、子育て・介護・働く環境など、日々の暮らしに根ざした課題を行政に問い合わせました。模擬議会とはいえ、発言には真剣な思いが込められ、町長や各課長も真摯に答弁。町民がまちづくりの主役となる機会として、大きな一歩となりました。



01

立候補のきっかけ

私が立候補したきっかけは、公明党から声をかけていただきしたことです。当時、竹富町には女性議員が一人もおらず、私も務まるのだろうかとても不安でした。それでも、子育ての課題を少しでも良くしたい、女性の声を町に届けたいという思いから、思い切って挑戦しました。

02

ご家族の反応

最初は家族も子供たちも驚きました。議員の仕事がどんなものか想像できず、役場が石垣にあるため、議会の時はどうなるのか、学校生活に影響はないかと私も心配でした。それでも子供たちがやりたければやつてみたりと教えてくれて、その一言に勇気をもらいました。

03

議員になる前となつてから

もともと人前で話すのは得意ではありませんでした。でも明るく何とかなると思しながらやってきました。議員になつて感じるのは、本当にいろんな考え方や意見があるということ。毎日が新しい発見と勉強の連続です。

04

卷之三

05

政治を目指す女性・若者へのメッセージ



三盛克美 議員

9月定例会

令和7年第3回9月定例会は、9月8日から9月19日までの12日間の会期で開かれました。前泊町長から報告4件、承認1件、認定6件、議案14件、が提出され審議されました。慎重審議の結果、全議案について可決されました。

令和7年度 一般会計補正予算(第2号) 主な事業



EV車充電施設設置委託 120万円

石垣で利用できるシェアカー4台分の駐車場を、役場から離島ターミナル2階へ移設します。



公共ライドシェア事業 54万円

黒島にて公共ライドシェアの実証運行を実施。地域事業者に委託し運行を想定している。乗員は10名以下。料金設定や近傍の料金を踏まえ、運行体制は地域公共交通会議を立ち上げて決定していく。



備蓄庫整備事業 3,456万円

上原・中野・浦内・白浜の4地区に住民向け備蓄倉庫を整備。設置場所は高台を優先。飲料水、非常食、毛布、簡易トイレ、発電機等を収納予定で、各地区人口に応じた数量を予定。パーティションやテントも検討される。



鳩間小中学校門扉・フェンス設置工事

1,316万円

学校周辺フェンスの設置とスライド式門扉を設置。予算は、人件費・運搬費・物価高騰が影響。台風・塩害に耐える仕様。門扉は鉄製を予定。錆対策として定期メンテナンスを実施していく必要がある。ステンレス等の代替材も検討余地あり。



スクールバス購入事業費 474万円

上原小学校用に10人乗り車両を購入予定。地域循環バスへ展開していくことは未定、補助事業を活用するものであるため、使途目的に沿った運用が条件となる。



共同仕入れ商品陸上輸送事業 135万円

西表島を対象に共同仕入れ商品を港から各小売店へ陸上輸送する際の輸送費を軽減する事業。まずは西表島を対象に体制構築を図り島々へ展開させたい。





令和7年度 一般会計補正予算（第2号）主な事業



9月定例会

鳩間 ⇄ 上原間航路運航補助 330万円

ダイビング業者2社の協力を得て、鳩間～上原間の航路を11月～翌年2月に実証実験運航を行う。結果を踏まえて持続可能な運航体制の構築につなげたい。



教員宿舎耐力度簡略調査 110万円

鳩間教員宿舎の耐力度調査を行う。補助金申請のため、県への調査結果の報告義務があり調査は必須。写真等による簡易調査を実施。建て替え時期は現在未定



シャトルバス運行業務 100万円

現在の職員による運航を委託化。波照間空港～集落以外にも、集落～港へも送迎を実施する。



施設設備品設置委託 350万円

大富公民館、美原公民館へクーラーを設置費。



令和6年度竹富町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について



総務財政委員会からのご報告

令和6年度決算認定について、総務財政委員会では関係課長の出席のもと、一般会計および3つの特別会計（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療）について審査を行いました。委員からは、町税収入の変動やふるさと納税の活用状況、各事業の執行状況などについて活発な質疑があり、町民の暮らしに寄与する施策の推進を求める意見が出されました。特に、修学旅行費補助や芸能発表会の制度運用の見直し、介護人材の確保、健康づくりのデジタル活用、産前・産後ケアの充実など、今後の制度改善に向けた前向きな提案がなされました。すべての認定議案は、全委員一致で認定すべきものと決定されました。

令和6年度
竹富町
一般会計及び特別会計
歳入歳出決算に関する資料

竹富町
決算



コチラから↑



経済委員会からのご報告

令和6年度の水道・下水道事業決算を審査しました。経済委員会では、令和6年度の簡易水道事業および下水道事業の特別会計決算について、上下水道課長の出席のもと審査を行いました。両事業ともに今年度から公営企業会計へ移行し、初めての決算審査となりました。審査では、未収金への対応や施設更新の計画、料金体制の見直し、経営状況の分析などについて活発な質疑が交わされました。波照間島での施設更新計画や、上原地区の漏水対策、将来的な水道料金の見直しの必要性についても議論されました。下水道事業では、接続率の向上や処理汚泥の堆肥化による農家支援、企業会計への移行に伴う管理体制の整備などが話題となり、住民生活と自然環境の両面からの改善が求められました。両議案ともに、全委員一致で認定すべきものと決定されました。

スパリ! 町政を問う!! 9月定例会

うえ せ ど
たくみ
上勢頭 巧議員
詳しくは動画を **Check!!** ▶



一般質問

津波避難体制の強化

問 7月30日の津波注意報発令時、町内に残る観光客数を役場は把握していたのか。

防災危機管理課長

約785名の帰宅困難者がいたと推定されるが、正確な把握はできていなかつた。船会社との連絡もつながらず、職員の個人的な連絡網に頼らざるを得なかつた。

問 観光危機管理マニュアルには緊急連絡網が示されているが、今回、公民館や自主防災組織との情報共有はあつたのか。

防災危機管理課長

館長らと連携をとつていたが、現場対応が優先され、十分な情報共有ができなかつた。今後、地域と協議しながらマニュアルを充実させていく。

問 津波注意報中に観光事業者が観光客を港へ送迎していたと聞く。事業者への指導や勉強会の開催が必要ではないか。

自然観光課長

事業者への周知や勉強会は不足している。今後、ヒアリングや訓練を通して理解を深め、マニュアルの実効性を高める。

町には正式な連絡はなく、職員の防災危機管理課長

個人的な連絡で午後3時半ごろに把握した。その後、防災無線などで周知した。今後は船会社との連絡網を再整備する。

問 避難所開設や備蓄品使用の判断は誰が行うのか。

防災危機管理課長

明確なルールはなく、現在策定作業を進めている。防災マットや段ボールベッドも導入できるよう補助金を模索している。

教育委員会総務課長

夜間・休日に学校を開放する体制は未整備。今後、防災課や地域と協議していく。

要望 マニュアルの作成で終わらせず、訓練を通じて課題を改善することが必要。備蓄や避難所開設のルールを早急に整備してほしい。

竹富町国民保護計画の整備

問 国民保護計画に基づく避難時、町職員の役割や搬送ルートが町民に周知されていないのではないか。

防災危機管理課長

令和5年度から避難実施計画を協議中で、搬送者数を踏まえた搬送計画を検討している。しかし職員や町民への説明は未実施である。

要望 観光客や高齢者も含めた実動訓練を行い、町民への説明会を町主導で実施すべき。

竹富町準景観地区条例の運用

問 竹富島温泉宿泊施設について住民の理解を得られているか、町は確認したのか。

防災危機管理課長

事業者が5回の説明会を行つたと報告を受けているが、参加人数は確認していない。

要望 認定前に受水槽やキュービクルが設置されているが、その対応は。

まちづくり課長

違反工作物として撤去を指導し、修正図面では外部から見えないよう配慮されている。

問 町長はこの計画をどのように考へるか。

町長

賛否両論あることを認識。事業者は地域と十分に意見交換すべきであり、町は公平な立場で景観審議会の意見を踏まえ、条例基準に沿つて判断していく。

要望 住民の理解を得ないまま認定を進めるることは条例の趣旨に反する。町民の信頼を損なわぬよう慎重な運用を求める。

財政健全化

問 不用額の要因と対応は。

財政課長

補助事業の実績乖離や入札差額、人件費精査が主因。進捗管理を強化し減額補正を徹底する。

問 町債残高106億円、利子年4500万円の現状、今後の発行と償還方針は。

財政課長

施設整備で発行増は避けられないが、交付税措置率の高い起債を選び、基金による繰上償還も検討する。

要望 不用額は町民サービスに回すべき。基金は「貯める」から「活かす」へ転換し、財政健全化を進めてほしい。

不法投棄ごみ処理と再発防止策を

問 竹富公民館が竹富東港の清掃を行つた。不法投棄ごみの処理と再発防止策は。

まちづくり課長

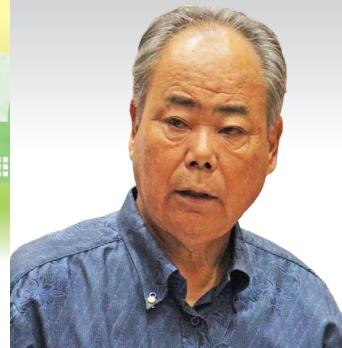
県土木事務所と協議し処理を検討中。防犯カメラ設置も協議しており、不法投棄は犯罪であると周知を徹底する。

要望 業者による投棄の実態把握を含め、実効性ある再発防止策を講じるべき。

スパリ! 町政を問う!!

9月定例会

ひがしかなみね はじめ
東金嶺 肇 議員
詳しくは動画を [Check!!](#)



一般質問

ため池内に 太陽光パネル設置

問 水抜きしたため池の目的と水の処理は。

総務課長

ため池に再生エネルギー導入拡大実証実験事業で架台を設置、太陽光パネルを取付るため調査利組合と調整し海に流している。水量は通常の半分以下で水

ため池はまた使えるか、不具合の対応は。

総務課長

火力発電軽減のため太陽光導入に国と企業が動き、ため池所有者と企業も調整をしており対応はな企業も取組む。藻を発生させな企業も取り扱う。島内電力は全て貯えると思う。が算出・設置・運営まで行い、これが工エネルギー100%を目指す。

水が出ない! 農業用送水管劣化深刻

問 漏水や不具合で水が出ないのもあり劣化が深刻。キビや牧草への懸念もあり対策は。

農林水産課長
応急処置対応となり送水管全体の劣化と認識。早期に状況把握

町長
初めて見たが観光立町としてサービスが行き届いていないと痛感した。ガードレール等安いから対応全然

要望 少しずつでも早くしてほしい。
町長
初めて見たが観光立町としてシャーマの時見て頂いたので対応を伺う。

まちづくり課長
平成4年町道認定され、これまで維持管理が不十分で申し訳ございません。今年度の集落内高木伐採作業に合わせ、事業者と調整したい。

問 町道だと歩道が見えないほど雑草が繁茂し通れない。海南端への道路で観光客も多いが海岸線側ガードレールも腐食していないのではないか。

空港入口↑ペムチ浜道路 早急に除草を

要望 部分的に解消しないだろう。水利組合は水使用料を原資に活動。昨年は送水電力変更で出費がかさみ、自前修繕や散水電気料増も予想され維持が困難になると会計の私自身大変危惧している。早急に全体調査や更新をお願いする。

副町長
歩道があると気づかなかつた。素晴らしい自然の心象を損い早期内を積み上げていきたい。

船賃軽減の要望

問 船賃負担軽減事業で現在は率記載がなく変動ないとと思うが、2年位前の県アンケート資料の県内24離島航路割引率の基準や考え方を伺う。波照間は町内でも一番遠いが最低水準の37%、西表大原、上原、鳩間航路も同じく低率で見直しを求めて頂きたい。

政策推進課長

国・県の高騰対策、町の可能範囲内を積み上げていきたい。

に意見書を提出した。県の物価高騰支援がなくなり今回の値上げになつたとの答弁があり、サーチャージ分町補助も昨年4900万円余りあるが、県分に当たる金額をできる限り町が支援できないか。

条件付きで 町が空き家改修

問 8年度1380万円の計画は。

まちづくり課長

現在、空き家再生事業活用タイプにエントリーして、居住が可能な躯体構造部から建具等まで必要な修繕改修を考える。

問 個人の住宅整備や賃貸にこの事業が使えるか。

まちづくり課長
活性化移住のために、空き家を賃貸住宅に活用できる事を確認済。町営のような住宅を想定、団地には入居制限があるが上限をなくし入居できると考える。

問 個人ではなく町主導で整備し、賃貸でいくらか家主に還元されるのか。

まちづくり課長

家主から10年以上借り上げる事が必須条件だ。町が空き家を借り改修して居住。賃貸は一部主に還元される想定。

要望 少人口減少に歯止めをかける事業だと思う。分かりやすく広く公開してほしい。

15 竹富 ⇄ 石垣(八重山観光、安栄)	△49%
16 小浜 ⇄ 石垣(八重山観光、安栄)	△47%
17 黒島 ⇄ 石垣(八重山観光、安栄)	△52%
18 大原 ⇄ 石垣(八重山観光、安栄)	△37%
19 上原 ⇄ 石垣(八重山観光、安栄)	△36%
20 鳩間 ⇄ 石垣(八重山観光、安栄)	△36%
21 鳩間 ⇄ 上原(八重山観光、安栄)	△49%
22 波照間 ⇄ 石垣(安栄)	△37%
23 船浮 ⇄ 白浜(船浮海運)	△57%

農林水産課長

応急処置対応となり送水管全



宮良道子議員

◀詳しくは動画を Check!!

ズバリ！**町政を問う!!**
9月定例会

一般質問

**7月30日津波注意報
発令について**

問 地震は遙か日本の北に発生し最南端の石垣・竹富町に津波到達まで時間はある。定期船の運休決定のタイミングは余りにも決定は早くないか。

政策推進課長 港則法に基づく海保と事業者の協議で決定され安全第一で運行中止を取つたと思う。

問 石垣にいる竹富町民は石垣市の防災体制の基での避難行動か。

防災危機管理課長 石垣にいる町民は石垣市の避難行動に基づく避難になる。

問 船の欠航やターミナル閉鎖で、沢山の人達がターミナル付近にいたが、この人達への石垣市からの指示はあつたか。

防災危機管理課長 石垣港において石垣市の職員が対応に当つたかは確認取れていない。ただ防災無線で海岸から離れるよう放送は流れていた。

問 ターミナルにおいて竹富町民に對し町役場からの避難指示や誘導等はあつたか。

防災危機管理課長 津波注意報が発令された時点で公式LINE等により、避難指示

等は行つたが現場での避難誘導は無かつた。

問 新聞では宿泊施設に問い合わせが殺到したとあるが、石垣滞在中の町民から役場への相談はあつたか。

総務課長 船が出ないと分かつた後での宿泊の相談はあり、役場に来てもらい対応。

問 地震津波警報では町職員は石垣市の防災計画に沿つて避難するのか。

防災危機管理課長 竹富町の本庁勤務の職員は石垣市の避難行動に基づいて避難する。防災訓練等も実施している。

問 黒島の空家対策！

政策推進課長 竹富町ビレッジコテージは、建築40年余りだが良い状態。空家対策推進の特別措置法では1年以上放置建物は「応違法」とあるが、所有している企業と交渉してリフォームし貸す事ができないか。

を見ながら貸せるか否かを調整し黒島研究所とまた別で調整をしている。それも進めながら環境整備について調整していきたい。

要望 町営住宅には単身者は入れない。単心者が入ることが一番大事で移住定住から島の発展にも繋がる。是非とも必要な施設、企業と協議され早急に空家対策事業をやって頂きたい。

べる環境と思う。今後希望した人が皆入れる取組みとして県に増築を要望して頂きたい。

問 県立高校の寮は身元引受人が必要とあるが。

教育委員会総務課長 県立高校寄宿舎へ入寮する場合は身元引受人・保証人を立てないと入寮できない。

群星寮及び県立高校宿舎について

問 群星寮は希望しても入れないという事があつたが町内高校生にもあるか。

教育委員会総務課長 群星寮入寮募集は昨年8月に行ない町内から8名の希望者があり11月の抽選では2名辞退6名が抽選を行い3名が内定。4月入寮時1名が辞退し2名の入寮となつた。

教育委員会総務課長 県教育委員会に町内出身の保護者の実情を伝えた上で県・町も一緒に調査研究は必要と思う。この件に関して教育長へ伝えたい。

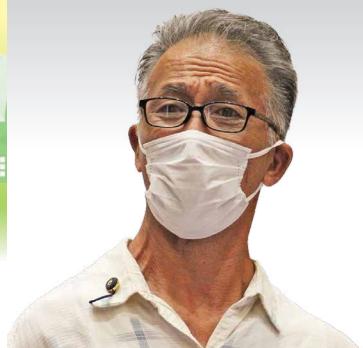
要望 最終的に2名だが、群星寮は入寮の際に身元引受人は必要ないという点や、安心安全で学

教育委員会総務課長 群星寮の管理は県が行つている。現在のところ増築等の話は把握していない。

群星寮入寮希望者及び決定者			
年度	希望者	辞退者	決定者
R7	69人	21人	43人
R6	62人	15人	47人
R5	58人	16人	42人
R4	61人	15人	46人
R3	72人	22人	41人

ズバリ! 町政を問う!! 9月定例会

まえ つ よし お 前津芳生議員
詳しくは動画を [Check!!](#)▶



一般質問

畜産共進会について

問 第28回八重山郡畜産共進会にて竹富町から、黒島の牛18頭が出品したが、その結果は。

農林水産課長

竹富町代表として、黒島から18頭の牛が登場し、4部門中3部門で、1席、優秀牛に輝き11頭が入門賞した。黒島以外からの出品牛が出ていたため他島からの、出品者が拡大の取り組みを強化したい。

問 沖縄県畜産共進会へ出品する出品者への支援としてレンタルカーの支援は出来ないか。

農林水産課長

沖縄県畜産共進会へは、6頭の出品牛があり地元、黒島の多くのみなさんが応援に駆けつけると思うので、移動手段としてレンタルカーの支援を考えているところ。

J-クレジットについて

問 資源循環型農業を推進するため、新たな財源としてJ-クレジットを活用するのはどうか。

農林水産課長

この制度は、温室効果ガスの排出削減・吸収量を国が認証し、取引可能とする制度で、農業分野では家畜排泄管理等の事例もある。資源循環型農業の推進に向け、新たな財源としての活用を含め、調査研究を進めたい。

問 循環型農業については、施政方針においても示されているが現在の取り組み状況と本年度の進捗は。

農林水産課長

現在、黒島地区において、琉球大学との共同研究で牛糞堆肥の実証実験をしており、堆肥の品質改善が確認されている。今後は実験結果を踏まえ、循環型農業の理解を図るとともに、現在各島々での、牛糞堆肥作りセミナーの開催を検討中である。

ていたが、現在まで実施していない状況。原因としては不在者による整理が出来ていなかつたため、現在地域計画の取り組みにより不在者地主の整理が進み、不在者相談会実施にむけ取り組みでいる。

公民館へのクーラー、ソーラーシステムについて

問 公民館へのクーラー導入はどのような計画があるか。

総務課長

本町において、クーラーが設置されている公民館は7カ所で、未設置の公民館は14カ所であることを把握している。近年の猛暑や、熱中症対策の観点から公民館への冷房整備は喫緊の課題だが、一斉設置は難しい。段階的に整備していく。ソーラーシステムについては、西表島についてもP.P.A事業を計画している。

この事業は事業者が企業や自治体の敷地内に太陽光パネルなどを設置し、発電した電気を企業や、自治体は電気料金を支払う事業。

30分までに避難場所に簡易式テント、椅子、水、などを準備し、津波に備えた。津波注意報の制限はどうなっているのか。

問 気象庁によると、津波注意報の場合は津波の高さが20cm以下となっており、その時にとる行動して海のなかにいる人は、直ちに海から上がり海岸から離れるとあり、必ずしも高台への避難ではないが、常に津波の情報を取りいつでも避難出来る体制をとる必要がある。

防災危機管理課長

今年度で避難道整備自主管理予算を活用して浦内公民館と一緒に連携を取りながら取り組む。

問 浦内公民館要請で第二避難道の修復の進捗は。

防災危機管理課長

これまで町の対策としては、水道料金免除や農家への共済制度支援などを実施してきた。今後は生活に密着する水道料金や、電気料金を市町村レベルで低減出来るか調査研究している。引き続き検討し、早い時期に実施したい。

物価高騰の町民への支援

問 どのような支援策があるか。

政策推進課長

これまで町の対策としては、水道料金免除や農家への共済制度支援などを実施してきた。今後は生活に密着する水道料金や、電気料金を市町村レベルで低減出来るか調査研究している。引き続き検討し、早い時期に実施したい。

カムチャツカ半島沖地震に伴う津波について

問 7月30日カムチャツカ半島沖地震がおき、浦内地区自主防災としては、連絡を取り合い 12時

農林水産課長

この事業の取り組みは、ここ近年は開催されていないと伺っているが。

農林水産課長

平成28年まで沖縄本島で実施し

スパリ! 町政を問う!! 9月定例会

みつ もり かつ み
三 盛 克 美 議員
詳しくは動画を [Check!!](#) ▶



一般質問

ライスセンターの可能性について

問 西表島では年間240トンものお米が生産されている。しかしそのほとんどが農協に出荷されており島内消費することはほとんどできないのが現状。施設の整備を前向きに検討するとのことだが、どのような規模で整備を考えているか。

農林水産課長 伊平屋村と同じく、農家の規模の伊平屋村では、国の補助を活用して約12億円で整備した。竹富町もその事例を参考にしたいと考えている。町の負担は約2億。

問 運営する指定管理者は未定だが、負担軽減策はないか。

農林水産課長 年間の施設利用料という徴収ではなく、機器使用料として徴収する方法もある。農家のみなさでんの負担にならない形で協議していく。

町民が安心して利用できる船舶体制について

問 老朽化した貨物船「かりゆし」の後継として導入される新フェリー「かりゆしが、なぜ鳩間・上原航路に入れないのか。

政策推進課長 短距離旅客船を改造したものであるため、鳩間・上原航路の運航許可が取れない。

問 新フェリー「かりゆしが上原に入れないので改めて運航計画を見直す。」

政策推進課長 町が知ったのは購入後で、事前の相談や説明はなかった。事前に把握できれば上原航路も見据えた運航計画が立てられた。

問 町営多機能型貨物船について

政策推進課長 月曜日フリー、火曜日大原、水曜日小浜島、木・金曜日は黒島、土曜日休み、日曜日は何かあれば運航する。

問 上原に入る計画はないのか。

政策推進課長 農協丸の運航計画を踏襲した形で検討していたが、新フェリー「かりゆしが上原に行けないことがわかったので改めて運航計画を見直す。

防災減災対策について

問 津波注意報について、島に滞在していた観光客や、石垣島にいた町民への対応にはどんな課題があつたか。町としての総括や振り返りはしたのか。

防災危機管理課長 全課で検証、振り返りをした。課題は避難所開設の運営方法、島内での対応従事者、また民間宿泊施設の活用などの課題が出た。

問 町の対応が後手に回った印象。特に船会社が臨時便を出していき、それを町が後で知ったと、共用がなされていなかつたので、共有の仕組みや行動手順はどうになっているか。

防災危機管理課長 石垣港災害対策連絡協議会といふものがある。海上保安庁、自衛隊、石垣港湾事務所、気象台、沖縄県、八重山警察署、石垣市、竹富町、その他船舶会社等の連絡体制が定められているが、今回は機能しなかつた。

問 注意報が解除されない中で臨時便が運航され、島にいる観光客は乗船できた一方で、石垣島にいた町民は島に戻れなかつた。なぜこのような対応になつたのか、その経緯と理由は。

政策推進課長 港則法に基づき、海上保安庁と船会社との協議によるものと認識している。

要望 災害時に観光客が不安にならないよう、受け入れ側としての対応マニュアルをしっかりと整備していただきたい。また、石垣市や船会社との連絡・情報共有体制についても、災害時に混乱が生じないよう再構築を求める。

問 避難所(体育館)へのエアコン設置について、国の令和6年度補正予算において避難所となる全国の学校体育館への空調設備の臨時特例交付金が創設された。竹富町でもこの制度を活用し、エアコン設置を検討してはどうか。近年の猛暑や災害時の避難生活を考えると暑さ対策としての空調設備は重要だが。

教育委員会総務課長 条例改正に関する有識者会議にて熱中症対策や、避難所としての活用を踏まえ、空調設備の整備を検討していく。災害時の停電対応(蓄電池・発電機・ガス)や維持管理費も考慮し、設置に向け前向きに取り組む。

●●補聴器の購入補助
訪問税について
他にも、このような質問もしました。



うえ もり まさ ひで
上盛 政秀 議員
 ◀詳しくは動画を [Check!!](#)

一般質問

町有貨物輸送船の活用	
<p>政策推進課長 貨物船は不定期航路に分類され、定期航路とは異なる制度や会計が適用されるため、現状では補助対象外と考えている。</p> <p>要望 補助対象となる可能性があれば積極的に活用し、白浜港の利便性や地域活性化につなげてほしい。</p>	<p>問 白浜港からの運航が補助対象路線となる可能性はあるか。</p>

小浜民俗資料館の整備	
<p>教育委員会社会文化課長 資料のデータベース化を終え、賃貸借契約を締結。屋根改修は入札不調となり、10月中旬に再入札予定。</p> <p>問 小浜民俗資料館の進捗状況は。</p>	<p>町長 現行機で生ごみも処理可能。年内に判断を下す予定で、必要があれば新たな機器導入も検討する。</p>

小浜公園整備事業	
<p>まちづくり課長 8月に公民館や学校関係者と意見交換を実施。対象地は約4460m²で、相続人9名のうち2名は所在不明で特定作業中。</p> <p>問 小浜公園整備の進捗は。</p>	<p>要望 観光客にもわかりやすく、専門的視点を取り入れた展示を整備し、駐車場確保も含め利用環境を向上させてほしい。</p>

介護・福祉事業	
<p>教育委員会社会文化課長 小浜織物共同作業組合の施設内に移動・保管予定。</p> <p>問 駐車場や自転車置場の確保は。</p> <p>要望 地域と定期的に協議を重入可能性は。</p>	<p>町長 管理方法は。入場料徴収は可能か。</p> <p>教育委員会社会文化課長 小浜公民館への指定管理を想定し、入場料徴収も前提に考えてほしい。</p>



政務活動報告

「町民の声を政策に活かすために」

議員の政務活動は、地域課題の把握から政策提言、他自治体との情報交換まで多岐にわたります。今号では、議員がどのような活動を行っているのか、その一端をご紹介します。詳細な報告書や活動記録は、町議会ホームページにてご覧いただけます。

- 宮良 道子 島づくり人材育成大学参加
- 三盛 克美 小規模多機能型居宅介護事業視察
- 山下 義雄 宮城県南三陸町における防災体制と震災伝承などについての現地視察
- 上勢頭 巧 「SDGsで考える石垣島の価値と未来～経済効果と自然の価値～」セミナー受講
- 崎枝 裕次 「おきなわ農林水産物県外出荷促進事業」について
国の沖縄政策担当とのヒアリング

▼各報告書は
こちら



波照間中学校3年生が女性議会を傍聴しました！



本年度の竹富町女性議会には、
波照間中学校3年生の皆さん
が傍聴席にお越しくださいました。



船の欠航により滞在が延びる中、急遽授業の一環として
議場を見学いただき、議会の役割や予算の仕組みについて
学んでいただく貴重な機会となりました。

さらに、議場入口の案内掲示板には、生徒の皆さん
が手書きで作成した温かみのある掲示物を作成いただき、議会
の雰囲気づくりにも一役買っていただきました。

若い世代が議会に触れることで、まちづくりへの関心が
育まれることを願っています。波照間中学校の皆さん、
ありがとうございました！

意見書を提出しました

竹富町離島における停電の頻発に関する是正対策と国・県の支援を求める意見書

非常備町村消防団への支援を求める意見書

離島地域における携帯電波障害と通信による災害対応体制の強化に関する意見書

議長宛の文書は議会事務局へ

議長あての文書や案内状は、
議長の公務日程を調整する
必要がありますので、議会事
務局へお届けお願いします。

広報編集委員会

委員長 上勢頭 巧
副委員長 大浜 一将

E-mail:gikai@town.taketomi.okinawa.jp

議会を傍聴しませんか？

傍聴受付に、複雑な手続きは
ありません。
詳しくは「竹富町議会事務局」
☎ 82-3748